

常任委員会視察ルポ

文教委員会視察ルポ

ンターレッツ木更津の視察をした。市役所とチャレンジ若者フアンド



五月十九日から二十一日にかけて男女共同参画推進条例(桶川市)

チャレンジセンターレッツ木更津(木更津市)、プラスチック容器リサイクルについて(彦根市)を行政視察した。桶川市では、平成十四年に男女共同参画条例を制定し、市長直轄の男女共同参画室があり全

庁的な取り組みをしていた。条例には男女平等苦情処理機関の設置もあり優れており、男女共同参画の基本計画を作成中だが、市民が熱心でその力が大きいと伺った。春日市でも計画されている条例だが実効あるものにと強く思った。木更津市では、再開発ビルの空床を活用するため創設した「市民活動支援事業」の一環として若者や女性を中心となって、地域社会を起業運営しているチャレンジセ



桶川市で男女共同参画について説明を聞く

れ、可燃ごみの袋はダイオキシンを除去するため炭酸カルシウム入りを採用するなど進んだ取組みが参考になった。

建設委員会視察ルポ

建設委員会では、五月二十四日から二十六日までの日程で、兵庫県神戸市、三重県鈴鹿市、愛知県知立市の行政視察を行った。

がPFIと呼ぶ手法で協力し、地域活性化に成功した事例で、やる気ある若者や女性の起業を応援する行政の先進性を感じた。彦根市では、民設・民営のプラスチックごみ資源化施設を視察した。春日市では平成十八年度にプラスチック容器リサイクルが開始される予定だが、彦根市ではプラスチックごみ減容装置は昭和六十三年より開始しており、プラスチック資源化施設は平成十五年に建設さ

つの調整池の施設整備している。中でも用地確保ができなかった経緯から、新生公園の地下に約十メートルの深さのプールを作ったのがあり、また雨水ポンプを設置し、集中管理するシステムにも目を見張るものがあった。

知立市では、連続立体交差・駅周辺土地画整備事業について視察した。平成十一年から十七年間にわたる事業となることから、住民理解を得るため、協議会の設置、全世帯に「まちづくりだより」の配付、地元商店街の高齢化に伴う次世代の対策も含め、事業に取り組む姿勢等は、本市においても必要なことだと感じた。



鈴鹿市のポンプ場を視察

編集後記

今年も一年を振り返る時期になりました。今年の夏は、真夏日が続き、とても暑く、夏が早く終わってほしいと、今年ほど感じたことはなかった。また、台風の上陸も多かった。特に十六号台風がもたらした災害の一つに、熊本県南阿蘇のシンボルで、長い間人々に親しまれ、大事にされてきた一心行の大桜が倒されたことは残念でなりません。四百二十年もの間、春の訪れを知らせてきた大木を一瞬の内になぎ倒したのである。まだ早いけど、来年の花見はどこに行こうかな。(浩孝)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 長能 文代
- 副委員長 谷 成之
- 委員 松尾 浩孝
- 委員 柴田 英明

